

科目	健康問題のある小児の看護				
時間数	1単位 15時間	授業方法	講義	授業時期	2年
講師名	③和田智恵子				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	成長発達途上にあるがゆえに、環境の影響を受けやすく、変化が早い小児の健康障害の特性に応じた看護の方法を学ぶ。				
目標	1. 特殊な状況にある小児と家族の看護を理解する 2. 小児看護に必要な看護技術について理解する				
授業計画					
回	内容				
1	小児看護に必要なコミュニケーション技術、身体アセスメント				
2	問診、健診				
3	検査や処置を受ける小児と家族の看護				
4	事故・外傷と看護				
5	健康問題・障害の経過の特徴と看護の展開				
6	健康問題・障害の経過の特徴と看護の展開				
7	さまざまな状況にある小児と家族の看護				
8	まとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う終講試験 70%、小テスト 30%を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	小児看護学(1)小児臨床看護総論:医学書院 小児看護学(2)小児臨床看護各論:医学書院				